重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	誰もがスポーツを楽しめる	
施策名	スポーツ活動を振興する	No.40

年度	平成27年度
責任部長	教育文化部長
主担当課長	スポーツ課長
関係課	スポーツ課

1．まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
スポーツを楽しんでいる人の割合（%）	↗	29.4	32.2	30.8	31.2	32.4	34.7	35.0
		34.7	34.5	33.4	36.1			40.3
市内の公共スポーツ施設の利用者数（万人）	↗	210.1	212.0	236.6	241.8	242.4	251.3	219.5
		251.3	249.8	248.2	246.3			271.0

2．外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

健康維持・体力増進を目的にスポーツに対する関心力が高まってきている。
年齢や体力に合わせて実践できる競技スポーツ・生涯スポーツが注目されている。
スポーツに対する関心の高まりにより、市民、民間業者でのニュースポーツを含めたスポーツ教室などの取り組みが増加するなど、イベントの開催などが求められている。

3．めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	スポーツを楽しむ人の割合は年々増加傾向にある。スポーツ施設については、土日曜日、祝日を中心に各種のスポーツ大会、個人利用などで有効に利用されている。また、各施設で開催するスポーツ教室など多数の参加者を得ている。見るスポーツとして、総合体育館では各競技において、全国的なスポーツ大会を誘致することにより、よりレベルの高い大会を観戦する機会を提供している。

評価がB・Cの場

4．事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1．長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2．各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊

総合計画推進市民会議による現状評価（※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の評価書」から転記）

評価	B 停滞	指標1・指標2とも目標値の達成は難しいと思われる。高齢者が多くなり、スポーツ人口は減少しているのではないか。また、娯楽が多様化し、スポーツよりもそれ以外のことに興味ある人が多くなってきたのではないか。